

「使命」と「対話」

教頭 吉岡 真左美



聖フィリピン・デュシェーン

6年音楽の授業で練習している聖歌に、『生かされている日々 感謝の歌を』という歌詞があったので、「生かされているって、どういうことだろう？」と児童に投げかけてみました。「～されている」という表現は、日常の中では“受け身”として使われ、ともすれば“主体的でない”姿勢だったり、他者から故意に操作されているようなマイナスイメージに捉えてしまうことがあります。しかし、この歌が聖歌であることを考えると、「神様という大きな存在から私たちは命をいただいている」という解釈が児童から出てきました。さすが6年生！

神様から命をいただき、今私たちがここにいることは、単なる偶然ではなく大きな意味がある…と言う言葉がありますが、神様から大切な使命をいただいた私たちは、その「使命」が何か、そしてどのように果たしていくかを、人生の中で模索し続けていくのだと思います。

今月は聖フィリピン・デュシェーンの祝日があります。聖フィリピンは神父様との対話を通して、『アメリカ大陸へ渡って、先住民の方々にキリストの教えを伝えるのが私の使命』と強く認識なさったのだと思います。“その時”が来るまで準備を整えながら辛抱強く待ち、ようやくアメリカ大陸に向けて出港した時には、新しい土地への不安より、ご自分の使命を果たすという決意で心が満たされていたことでしょう。聖フィリピンに及ばずとも、私たちも自分に与えられた「使命」を認識して果たすことができれば、素晴らしいことです。それは、“自己実現”や“社会的成功”をはるかに越えた「神様とつながって生きる」ことであり、その視点を持てるように教育活動を行うことが、学院の「使命」でもあります。

聖フィリピンは、神父様との対話を通してご自分の使命を認識されました。「使命」に気づくには、人やもの、自然など、誰かや何かと対話を重ねることも大切なプロセスになると思います。歴史に名を残す芸術家たちも、一人で無から新たな芸術を生み出したのではなく、過去や現在の様々な芸術に触れたり、他のジャンルの事象に触れたりしながら、自身の中で対話を重ね、練り上げ、生み出していきました。学校での教育活動においても、多角的な視点を持ったり、思考を広げたり深めたりできるよう、「対話」することを大切に進めてまいります。その中で、「これが私の使命なのかもしれない」という出会いや気づきが生まれていくことを期待しています。

ウクライナ交流

10月22日(水)の放課後、4～6年生の希望者でウクライナのお友だちとオンライン交流をしました。



交流の様子



ウクライナのお友だちに送る千羽鶴を作成

授業を通して目指すもの

初等科では、日々の授業の質をさらに高めるため、教員が校内で研修や授業研究に取り組んでいます。教員は少人数のグループに分かれ、年間を通して互いの授業を見合いながら意見を交わしたり、協力して一つの授業を練り上げたりすることで、教員一人ひとりの授業力の向上を目指しています。

今年度は「これからの時代を生きる聖心の子どもにとって必要な学びとは～『自ら問いをもち、学びを創る子ども』を目指して～」というテーマを掲げ、研究を進めています。今の子どもたちは、インターネットの普及により、簡単に多くの情報を手に入れることができる時代に生きています。そして、子どもたちが大人になる頃には、AIが今以上に身近な存在になることでしょう。そのような社会において求められるのは、子ども自身が自ら問いを立て、仲間と協力しながら課題を解決していく力、そして自らの学びを広げていく力だと考えます。今年度の学校目標である「一步踏み出し、出会い、新しく創る私たち」にもあるように、学習面でも与えられた課題を解くだけの受け身の学習になるのではなく、主体的に課題に関わり解決した後も「だったら…」と学びを創っていく（広げていく）子どもたちの姿を期待しています。



〔家庭科〕ジャガイモを食べ比べて
 品種の違いを体感

理解へとつながられるよう努めています。

また、子どもたちが実際に体験したり、ゲストティーチャーから話を聞いたりするなど、“本物”に触れる学びも大切にしています。「みこころ」の授業では、3・4年生は学年共通のテーマで、5・6年生は自分で選んだテーマで探究学習に取り組んでいます。インターネットで調べるだけでなく、フィールドワークやインタビュー、アンケートなどを通して自分の手で集めた一次情報を大切にしています。

社会が大きく変化し続けるこれからの時代を生きる子どもたちが、初等科での学びを通して、豊かな知性と柔軟な発想力を育んでいけることを願います。

研究主任 松瀬 仁



〔算数発展〕
 縮図を利用して校舎の高さを実測

授業では、結果だけでなく「学びの過程」を大切にしています。たとえば分数のわり算の学習では「わる数をひっくり返してかける」という方法を教えるのではなく、これまでに学んだ知識をもとに子どもたちが意見を出し合い、どのようにすれば計算できるのかを考えます。今年の授業では、 $2/5 \div 3/4$ の計算の仕方考える中で「たし算のように通分し $8/20 \div 15/20$ にしてみたらどうか」という意見が出てきました。一見すると意味がなさそうですが、わり算のきまりを使って分母を消すと分子の $8 \div 15$ だけが残残り、 $8/15$ という答えを導くことができました。自分たちの出したアイデアが、教科書にはないやり方に繋がったことで子どもたちの自信にもなりました。このように初等科の授業では知識を一方向的に与えるのではなく、自ら学びを創り出す経験を通して、より深い

11月の行事予定

1日(土)	初等科入学試験	19日(水)	4年デフリンピック観戦(5・6限)
3日(月)	文化の日	20日(木)	聖心会創立記念日
4日(火)	学校指定の休業日(初等科)		教員研修会6限(5限まで授業)
5日(水)	1年・転入編入保護者会	21日(金)	新1年生保護者会
7日(金)	4年社会科見学・保護者静修会	22日(土)	なでしこ広場(JFA主催)
11日(火)	久我山青光学園訪問(放送もゆる)	23日(日)	勤労感謝の日
12日(水)	聖フィリピン・デュシェーンの祝日講演会(2nd)	24日(月)	振替休日
13日(木)	一日学校参観日 (3・4限保護者講演会)	25日(火)	6年まどめのテスト
		26日(水)	6年まどめのテスト
15日(土)	転入・編入・帰国生学校説明会		月曜時間割
17日(月)	聖フィリピン・デュシェーンの祝日行事(1st)	27日(木)	5年英単語検定(4限)
18日(火)	6年進学説明会 聖フィリピン・デュシェーンの祝日	28日(金)	6年CW合同演習(1・2限)
		30日(日)	待降節第1主日
		※12月1日(月)	ハイチデー